

2019 年度事業計画について

1 基本方針

わが国においては、少子高齢化が進展し、長期の人口減少過程に入っています。こうした中で、高齢者から若者まですべての国民が生涯現役で活躍し続ける一億総活躍社会の実現のため、働きたいと願う高齢者の希望を叶える就職支援を充実する必要があります。

それとともに、人手不足分野での、就業機会の提供に、積極的に取り組むシルバー人材センター事業の重要性とシルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものになっています。

しかしながら、当センターの現状は厳しく、市内の各事業所における 65 歳を超える継続雇用や 65 歳以上の定年引上げ等の再雇用制度導入の浸透により、新規入会される方は減少し、退会者が入会者を上回り、会員数の減少に歯止めがかからない状況です。

引き続き、後継者の育成と新たな地域ニーズに応えられる体制づくりのため、入会促進及び退会抑止に努めると同時に、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に沿った安全・適正就業に取り組めます。

また、平成 31 年度から平成 35 年度の 5 年間の中期計画を定めたので、当センターの意義、役割を再度見つめ直して、会員それぞれの経験や知識を活かしながら、「自主・自立、共働・共助」の基本理念の基、事業の安定的な拡大や運営基盤の強化を図るよう、計画に基づき事業運営に取り組んで参ります。

2 重点事業

当センター中期計画（平成 31 年度～平成 35 年度）の基本方針

- 1) 会員の増強
- 2) 受注拡大と就業率向上
- 3) 自主・自立の組織づくり
- 4) 安全・適正就業の促進
- 5) 財政基盤の強化

3 事業実施計画

(1) 会員の増強

1) 会員拡大の推進

会員は、シルバー人材センター事業を推進していくうえで根幹をなすものであり、会員の増強は、喫緊の課題となっています。目標を定め、会員

や役員が一体となって会員拡大を図ります。

また、今後も女性会員の入会促進を積極的に取り組みます。

- ① 新規会員の加入促進（1人1会員入会運動を通じての会員勧誘）
- ② 退会会員の抑制（就業相談、希望職種の見直し等）
- ③ 入会説明会等の定時及び随時開催し、内容の充実、市内イベントへの積極的な参加による会員募集活動
- ④ ハローワーク等の行政機関をはじめ社会福祉協議会等と情報の共有及び連携
- ⑤ 新聞折り込み会員募集チラシの充実
- ⑥ 女性向け各種講習会開催による会員の増強
- ⑦ 女性理事の積極的な登用

2) 普及啓発事業の推進

シルバー人材センターの目的、仕組み、活動内容等を広く市民にPRする普及啓発に努めます。

- ① 会報「くろべがわ」の発行（年2回）
- ② 「シルバーの日」ボランティア活動の実施
- ③ 市広報等の地域メディアの活用、市内イベント会場等での普及啓発
- ④ 新聞折込みチラシ配布（年2回）の実施
- ⑤ 入会促進特別月間の設定
- ⑥ 公民館等へのポスター掲示やチラシの配布
- ⑦ 女性会員の入会促進に向けたPR

(2) 受注拡大と就業率向上の取組み

会員・役職員が一体となり、人手不足分野等、会員が活躍できる就業機会や幅広い就業場所の開拓・拡大に取り組みます。

- ① 企業訪問等の実施による就業の拡大
- ② 会員ニーズの把握
- ③ 会員ニーズに対応した就業機会の提供
- ④ 人手不足分野の就業会員の育成
- ⑤ 空き家管理の取組み

(3) 自主・自立の組織づくり

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の実現に向け、理事（役員）会、各種委員会、地域班・職務班活動の機能強化、組織の活性化に努めます。

- ① 理事（役員）会、理事専門部会の活動強化

- ② 各種委員会の適宜開催
- ③ 地域班活動の充実
- ④ 職務班活動（グループ就業）の推進

（４）安全・適正就業の促進

『安全はすべてに優先する』をモットーに、組織一丸となって、事故ゼロをめざします。

- ① 安全適正就業対策委員会の定期的な開催や対策会議開催による活動強化
- ② 会員への安全就業基準の周知、励行の徹底
- ③ 安全意識の高揚と啓発活動の強化
- ④ 安全パトロールによる安全就業確認、事故防止
- ⑤ 防護具等の装着確認、適正な取り扱い
- ⑥ 機械器具等の点検
- ⑦ 関係法令等の順守、適正就業の徹底
- ⑧ 公平・適切な就業機会の提供のため、ローテーション就業やワークシェアリングの推進

（５）財政基盤の強化

安定した事業運営を行うために、健全な財政運営・財政基盤の確立を図ります。

- ① 事業運営の効率化による管理経費の節減
- ② 公益法人としての適正な事業運営
- ③ 職員の適正配置の推進及び事務の簡素化・効率化